

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西
より
発信

No. 184
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● あけましておめでとうございます

教育、福祉を保守の手に!

戦後七十数年、変遷はあったものの一時の民主政権やおたかさん政権を除き、基本的に自民中心の保守派が政権を担当してきた。そしてこの保守派の方々、利権が大好きなのだ。特に地方議員。大阪や東京、富山を見れば金額の大小はあるものの、お金にまつわるトラブルが多すぎるのだ。彼らは土木や建築、産業等大規模公共事業を計画し、国家の屋台骨を支えてきた。それもまた事実。そして、お使い行った子供がお釣りをポケットに入れるようなことをやってきた。そして利権や票になりにくい教育や、福祉を顧みなかった。そこに目を付けたのが共産党や民主党の「市民派」と言われる連中。公明党と言う特殊な政党もあるが・・・たいしてお金にはならないがコツコツと真面目にやってきた。「福祉」は緊急を要することもある。ところが「教育」は緊急性は薄いが基礎数学みたいなもので、すべての基礎だ。その重要な教育を左派が握ってしまった。その結果日本が左傾したわけだ。そう言った意味で私は自民党の責任は重いと思う。安倍さんは「戦後レジュームの脱却」と言われる。自民党がないがしろにしてきた教育の再生こそが真にこれだろう。

私は今まで多くの選挙に首を突っ込んできた。もちろん保守と言われる候補達。北は北海道から南は石垣島まで。民主党所属の候補の応援をしたこともある。そして各候補よく言われるのが「教育だけではねー!」政策にあるものの6番目か7番目。ところが「これではまずい。」と気が付いたのが大阪の橋下知事、市長。教育基本条例を作りさっさと教育問題を片づけてしまった。



椋本黨代表 (左) と西藤彰子隊長 (右)



堺市政を考える会 日高由里子代表

12月にNPO法人百人の会の理事会があった。最近なんとなく「手持ちぶたさ」で精彩を欠く。「仕事がないな〜」「橋下さんがみんなやっちゃったから」「百人の会がつぶれたら橋下(氏)のせいや?」などと冗談を言いあっていた。さて、そんな昨今である。そんなわけで我々の運動も思想的なもの、歴史観、国家を護るといふ観念の運動がほとんどだった。教育についてもその線で戦ってきた。しかし今、新しい試みとして福祉がらみの「教育格差」にも言及し始めた。また、今まで行政の不手際を追及するのは市民派と相場が決まっていたが、それも我々が始めている。ともに橋下氏の影響だろう。貧困問題を言い出し、塾代も自治体が払う、本気の行革(報酬カット)をやったのも橋下氏。氏の心が徐々に花開いていくのではなからうか。

前者はNPO法人百人の会の理事でもある茨木市在住の椋本黨氏が、「地方自治体の未来を考え隊」という名称の組織を作り、堺、茨木、吹田、豊中、大阪、尼崎、西宮等で組織化を始めた。

「尼崎の未来を考え隊」の隊長としてさっそく活動開始。彼女はシングルマザーで、中々と高1の子供を抱え、切実な問題。彼女は阪急園田在住。川の向こうは大阪市。長女は何と公立校。次女が公立を失敗し、私立高校へ行くことになる。そこには当然大阪在住の生徒もいる。彼らは授業料無料、兵庫の子は高額。その両者が机を並べるわけだ。「格差をなくせ!」と声を上げないわけにはいかない。

後者は堺市。あきれ返るほど度重なる個人情報流出事件に業を煮やし、日高由里子氏が「堺市政を考える市民の会」を結成し市長退陣運動を始めた。実は一年ほど前から先行活動をしていて、「地方自治体の未来を考え隊」に合流。会は市長相手に橋下法律事務所事件を委任。個人情報流出の行政訴訟を提起する

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市会議員)」。2番艦が「英霊を被告にして委員会 (代表中村重行)」、3番艦が「憲法一条の会 (代表小野馨子)」。これらの団体に頂いたご意見等を M 情報の責任で発信しています。

◀M 情報活動報告▶編集指針; 政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

各議会・政界・行政関係レポート

教科書謝礼問題 (一)

埼玉県議会 2月定例会

質問 無所属県民会議 鈴木正人

平成二十八年二月二十六日

質問 鈴木正人

次に、大きな四、教科書採択前に教員が事前に教科書を閲覧し対価を受け取っていた問題について。

教科書出版会社が検定中の教科書を教員に見せて謝礼を支払っていたことが、昨年未頃から全国的に明らかになりました。文部科学省が小中学校用教科書を発行する各社に求めていた自己点検結果を公表したところによると、全二十二社のうち十二社が検定中の教科書を教員ら延べ五千四百七十七人に見せ、うち十社が延べ三千九百九十六人に謝礼として数千円から五万円の金品を渡し、採択権限を持つ教育長や教育委員にお歳暮やお中元を贈っていたことが明らかになっております。

我が埼玉県の状況でも、平成二十一、二十二、二十五、二十六年度において不適切な宣伝行為は、二十二社中九社が関与していたことが明らかになり、対価を伴わず検定申請本を閲覧させた事案は四社六十六人。検定申請本を教員等に閲覧させ、意見聴取等の対価を支給した事案が六社百六十七人にも及んでおります。報告書によれば「県教育委員会としての対応は、文部科学省からの情報を精査し、関係市町村教育委員会と連携して事実確認を進める」とされておりますが、進めた結果どこまで事実確認ができるのか、結果によってどのような処分があるのか注目されます。

か、結果によってどのような処分があるのか注目されます。

そもそも意見聴取等の対価を支給となっておりませんが、これはお金を渡しして意見聴取という形であっても教科書会社に一定の便宜を図っているわけですから、見方によっては賄賂ではないかと捉えられても仕方がないのではないのでしょうか。例えば、今回の自己点検の結果は、埼玉県でも圧倒的多数で一番謝礼を渡していた教科書会社は東京書籍で、謝礼を受け取った教員百六十七名中、百六十六名が東京書籍から謝礼を受け取っているわけですが、県内中学校の社会科学教科書の採択状況を見ますと、二十三ある採択地区の中で二十二の採択地区の地理、歴史、公民の教科書で東京書籍が採択されております。

また、県立特別支援学校中等部について、そもそも我々は疑問に感じていたのですが、教育委員会の委員さんの思いよりも現場の教員の声を尊重するという形で教科書が採択され、十四校中、地理と歴史で十一校、公民で十校が東京書籍を採択しております。このように謝礼を受けた人数が圧倒的に多い東京書籍が、圧倒的なシェアを中学校の社会科学の分野で占めているのであります。これは単なる偶然なのではないでしょうか。

ちなみに、北海道教職員組合が非常に強い力を持っていると言われている北海道では、謝礼をもらっていた教師四百八十九人のうち、教科書採択に関わっていた教師が百十六名いたことが明らかになり、やはり社会科学の教科書は謝礼を渡していた三社の教科書がほとんどの採択地区でシェアを占めていて、受託賄賂罪で立件すべきではないかという声すら上が

っているのであります。

国も自治体も、仮に建設・土木業者が国や自治体側の許認可を持っている者への賄賂が発覚すれば贈収賄事件になります。自治体工事の指名入札業者から外されるパネルティーも受けます。

今回の謝礼という名の金品のやり取りが教科書採択につながったということになれば、立派な賄賂となるわけですから、自己申告以外の接待なども含めた徹底した調査が必要であり、仮に金品のやり取りや接待によって教科書採択に便宜が図られていたという事実が発覚した場合は、教科書採択そのもののやり直しや建設業者の指名停止に当たる厳しい処分も必要だと考えますが、いかがでしょうか。

そこで、今回の教科書発行者による自己点検、検証結果について、まず初めに、埼玉県総合教育会議などで議論する権限を持つこととなった上田知事に率直な感想と、知事として何か行動をとられることがあるのかお尋ねいたします。

次に、どのような形で徹底調査し、今後、結果次第によっては処分などもしっかり検討されているのか、教育長にお尋ねいたします。

◎関根郁夫教育長 御質問四、教科書採択前に教員が事前に教科書を閲覧し対価を受け取っていた問題についてお答えを申し上げます。

どのような形で徹底調査し、結果次第によっては処分などもしっかりと検討されているのかについてでございます。

延べ二百三十三人という多くの教員が教科書発行者の不適切な行為に関わっていたということに對しましては、重大な問題として受け止めております。この問題では、教科書発行者の行為に安易に納得して教科書を閲覧し、謝礼を受け取ってしまうという教員側の教科書採択に関する意識の低さを痛感しております。

教科書採択は、子供たちが四年間にわたって使う教科書を選ぶという極めて社会的責任の大きな事務でございます。採択権者は、該当教員に対しては、事実に応じ処分も含めしっかりと対処してまいります。

韓国の日韓合意反故について

H28-1-20 事務局 増本重夫

韓国は日韓合意を反故にした。10億円取っておきながら、その対価に見合う債務を履行しなかったのだ。

そもそも日韓合意は、日本政府と韓国政府、政府間の約束。10億円の支払いと引き換えに(はつきりとは書かれていないが)慰安婦像を撤去する。それを、韓国国民が反対し、大暴れ。暴動を起してまでの国民世論に韓国政府が、その暴動を鎮めることができず、それに引づられたというお粗末な話。たまたま朴大統領が国内トラブルで指揮権を発動できないうちにお粗末な事情もあるが。そもそもが民主主義をはき違えた、言った者勝ちの情痴国家。

さて、住民の違法な暴力騒ぎで、政府間の約束が履行できない話・・・どこかにあったな。そう、沖縄問題。沖縄の基地移転は日米政府間の約束。国と国の約束に、地方自治体や、市民が口を出す話ではない。ところが現実には、反対市民の反対で基地返還が履行できない。韓国と全く同じでないか。日本国民は韓国国民を今回のことで増々バカにするだろう。イヤ、しつこい。同様に米国民は日本国民を、今のように見ているだろう・・・。「人の振り見て我が振り直せ。」ではないだろうか。

杉田謙一の歴史。水師營の歴史

水師營の会見の日
2017.01.05

謹みて初春のお喜びを申し上げます

御製 満蒙開拓平和記念館にて
戦の終りし後の難き日々を
面おだやかに開拓者語る

陛下は昨年十一月には、犬山・小牧市、長野県阿智村に行幸啓下さり満蒙開拓平和記念館をご訪問。その時の御製を「発表」になられました。常に国民をお思い下さるお姿に感銘限りなし。私もこの3日間でおよそ八千本の小旗を奉迎者にお配りし、住民の皆様と共に感謝の思いをお伝えいたしました。

昨年は皇太子殿下には安城・西尾市・名古屋市、秋篠宮殿下は豊橋・蒲郡・豊川・田原市のおなりがあり、愛知県民は深き感銘を受けさせていただきました。私も子どもが作成した小旗も秋以降で三万本以上です。ご協力くださいました皆様に変更して深く感謝します。

本日一月五日は日口戦争での水師營の会見がなされた日。乃木將軍が敗戦の敵將スッセルの名譽を損なうことなく会見をなしたことは世界の稱賛を浴びたのでした。

旅順戦で投降した旅順要塞司令官のスッセル中将が会見のために水師營にやってくる。乃木大將は沿道に隊列をつくらせて迎えることを禁止したので。これではさらし者になってしまう。またスッセルと副官には帯剣を許し、敗軍の將に敬意を持って接したのである。さらに会見の場の報道撮影を拒否。撮影は

威風堂々とした馬上の姿のみとする武士道になつた対応をしたのです。戦前生まれの方は唱歌として義務教育で習ったのですが、今はほとんど知っている人さえいないのは残念です

旅順(のよじゅん)開城(かいじょう)約成(やくな)りて敵の將軍 スッセル乃木大將と会見の所はいすこ水師營庭に一本(ひともと) 橐(たづめ)の木

彈丸(たまご)あとも いちじるくくすれ残れる 民屋(みんおく)に今(いま)相(あい)見る 二將軍乃木大將は おこそかに、御(ご)みめぐみ深き 大君(おおきみ)の大(お)おもひとの(の) 伝(つ)つづれば

彼(かれ)か(か)しこみて 謝(ま)しまつる昨日(きのう)の敵(てき)は 今日(けふ)の友(とも)語る(か)ることも うちとけて

我(われ)はたたえつ かの防備(ぼうえい)かれは称(な)えつ わが武勇(ぶゆう)かたち正(ただ)して 言(い)いでぬ『此(こ)の方面(へん)の戦鬪(せんとう)に二子(にし)を失(う)せ給(たま)いける閣下(かくげ)の心(こころ)如何(いか)にぞ』と

二人(ふたり)の我が子(こ)それぞれに死所(しじよ)を得(え)たるを喜(よろこ)べりこれぞ武門(ぶもん)の面目(めんぼ) (めんぼ)と

大將(たいしょう)答(こた)え(え) 力(ちから)あり 面(おもて)将(しょう)風(ふう)食(じき) (ひるげ) 共に(ともに)して 乃(な)もつ(もつ)きせぬ物語(ものごと)『我(われ)に愛(あい)する良馬(りょうま)の(りょうま) あり 今日(けふ)の記念(きねん)に献(けん)すべし』

厚意(こうい)謝(しゃ)するに余(あ)りあり 軍(いくさ)のおきてに從(したが)いて

他日(たいつ)我が手に受領(うけりょう)せば
ながくいたわりの養(やしな)わん』
『やらば』と握手(てしやく)ねん(ねん)に
別(わか)れて行(ゆ)くや右左(みぎひだり) 砲音(たうおん) (つ)つおと) 絶(た)えし砲台(ほうだい) (ほうだ) (つ)に
ひらめき立てり 日(ひ)の御旗(みはた)

数年前、この水師營の建物を訪問した際には修復されていたとはいえもう勝手な展示がチャイナによってなされていた。中での説明は日本の侵略のひどさだの全く別の南京ねつ造写真を掲げ、反日意識を高める案内人の説明。こうして歴史を破壊していくのかとつくづくチャイナが嫌になったのでしたが、まっとうな教育が日本国内だけでもなされることをいのってやみません。

三島義拳の精神とランブチャンス 2016.1.25

今日は三島由紀夫先生の自決の日であります。45歳は遠い向こうにあると思っていた高校時代。それまで何ができるか、友と話し合ったり書き留めたものもろを思い返すが、思うことは無為に日々を過ごしてきたことへの慚愧の念。優秀な先輩たちが学者になり政治家になり社長となり世に貢献していることを思ってみても、我が身のふがいなさに恥じ入るばかり。これではいけないと、ならばどうすると自らに問うても弁解のみの己に情けなさしか感じられない。やり残しを少しでも減らそうと朝5時から事務所の掃除をとりあえずおこなっています。さて、三島由紀夫氏の学生との討論記録にこのようにあります。
「何を信じるか」の一部を抜粋します。
何も未来を信じないとき、人間の根拠

は何かと言つことを考えますと、次のようになります。未来を信じないという事は今日に生きることでありますが、刹那主義の今日に生きるのではないのであって、今日の私、現在の私、今日の貴方、現在の貴方というものは、背後に過去の無限の蓄積がある。そして長い文化と歴史と伝統が自分のところまで止まっているのであるから、自分が滅びる時は全て滅びる。つまり、自分が支えてきた文化も伝統も歴史もみんな滅びるけれども、しかし老いていくのではないのです。今私が四十歳であっても、二十歳の間も同じように考えてくれば、その人間が生きている限り、その人間のところで文化は完結している。そのようにして終わりとなり終わりを繋げば、そこに初めて未来が始まるのであります。
われわれは自分が遠い遠い祖先から受け継いできた文化の集積の最後の成果であり、これこそ自分であるという気持で以って、全身に自分の歴史と伝統が籠もっているという気持を持たなければ今日の仕事に完全な成熟と言つものを信じられないのではなかつたか。或いは自分一個の現実性も感じられないのではないか。自分は過程ではないのだ。道具ではないのだ。自分の背中に日本を背負い、日本の歴史と伝統と文化の全てを背負っているのだという気持ちに一人一人がなることが、それが即ち今日の行動の本になる。(中略)
自分の中に全ての集積があり、それを大切にし、その魂の成熟を自分の大事な仕事にしてゆく。しかし、そのかわり、いつでも身を投げ出す覚悟で、それを毀すうとするものに対して戦う。未来を信ずる浅はかな人間がやってきた時に、そしてその人間が暴力を振るって向かってきた時に日本の歴史と文化と伝統をお前は破壊するつもりか、これを毀すとは

どういふことかという気持ちでのしかか
っていく。その闘志というものは、彼ら
と逆な思想を打ち込んでゆくことによ
ってしか生まれたいという。彼らの真似を
して未来を信じれば、彼らに足下を掬わ
れるだけである。

ここにこそ現在があり、歴史があり、
伝統がある。彼らの貧相な、観念的な非
現実的な未来ではないものがある。そこ
に自分の行動と日々のクリエーションの
根柢を持つということが必要です。これ
は又人間の行動の強さの源泉にもなる
と思う。というのは人間というものは、
それは果てしない生命であります。しか
し、明日死ぬと思えば今日何かできる。
そして、明日がないのだと思うからこそ、
今日何かができるというのは、人間の全力
の表現であり、そうしなければ、私は人
間として生きる価値がないのだと思いま
す。 引用以上

自分の中に(日本文化の)すべての集
積があり、それを大切にし、その魂の成
熟を自分の大切な仕事にしていくこと
が日本人の姿だといわれている。自分の
背中に日本の歴史伝統文化のすべてを背
負い、今日の行動の本としていくのが日
本人の生き方だといわれる、到底到達で
きそうにない境地であるが、明治の先人
らはそれを成し遂げた人ばかりであつた
ろう。昨日の、台湾にのこる「日本精神、
リップンチェンシン」を示された台湾派
遣の人々は、だから尊敬を受けているの
でしょう、

昨23日の三ヶ根部隊葬の日。式の最
前列に立つて様々を思っている最中、う
しろを通る一般人が聞こえよがしに「戦
犯東条か。変なもの造るな。」と声を上
げた老人がいた。厳粛な式典を汚す輩に
怒りを覚えたが、式を抜け出し注意でき
る場所と立場ではなく、言われればなし
で悔しい思いをした。まだこうした人物

がいるのだ。歴史を知らぬままのものは
こうした学校等で教わったままの意識な
のだろう。作られた歴史をうのみにして
生きた世代はいつまでたっても愛すべき
ものを見いだせないであろう。

三島氏の義拳の時、時の中曾根防衛庁
長官は『狂気の沙汰』と言明。省庁の動
揺を抑える立場に回っていた。

浜田幸一氏はその時一回生。1973
年には中川一郎・渡辺美智雄・石原慎太
郎らと共に民族主義右派政治家の青嵐会
を結成していた。文壇仲間の石原慎太郎
氏は戦地で多くの人がなくなつて悲痛
な思いが漂う敗戦直後には「太陽の季節」
なる青年像を描き、脱戦中のヒーローだ
つたが、死した同胞や家族を悲しむ人
は文学とはいえ、非常識と思われもした。
しかしこの時は硬派として時代を動か
していた。言論まさに痛快。

しかしその当時と比べ、自民のパワー
の落ちたことよ。

「シビリアンコントロールは結局アメリ
カからしか来ないのだ」と三島氏が自決
直前の檄文に記した如く、未だいびつな
形で自衛隊を規制し続けている。暗号や
指揮命令などは米国流のものとなり、米
軍の同意がなければ自衛隊単独では行動
できない。自衛隊は戦わぬ軍としての存
在ではない。

隊からの叫びは来栖長官の『超法規的行
動』発言にあらわれた。これも解任覚悟
の正義の叫びであった。当時の金丸信防
衛庁長官から解任された事件(1978年
である。

今日、やっと安保法制はなつたが、現
実的にはまだまだ政治の歩みに関しては
慎重しすぎで有事に対応していないの
が現状。しかし大きな風穴が日本で開い
たのも事実である。

このシビリアンコントロールというの
は今日、内局という防衛省の官僚組織が

自衛隊を統制下におくということに他な
らない。すなわち軍事に関しては専門家
ではない内局の官僚が、主に予算や官僚
制の組織論的観点から自衛隊をコントロ
ールしている状態なのである。

日本の場合、来栖事件以来、統幕
議長の首を切ることがシビリアンコント
ロールのように思っているのではないか
まったく間違っている。内局ごときに軍
の活動内容をコントロールされるとした
ら軍は動けっこないのだ、いかに鍛錬を
積んだ自衛隊があつても米国の指示と内
局の統制があるなら国防上、いざとい
うときには動きが取れない。幸いなことに
米国新大統領トランプ氏は米軍の日本駐
留に懐疑的。まさにチャンスであります、
そもそも独立国が占領軍の治外法権的駐
留をこれほど長く認めることこそが異常
なこと、改憲もそうだが、その前に国益
を守る国軍を育成するためにそして我が
国単独でも国を防衛するための戦略を
保有するために政府は国益を守る国軍の
創出を図るべきであります。武器の国産
化をなし、米軍のレーザーシステムに頼
らずとも独自に動けるなどの大改革をな
すチャンスであります。

当時狂気とされた三島事件の根本精神
が、今の世になつてようやく理解される
段階になつたように思つ。
あと少しのところまで来たようだ。

石垣市の選択に感謝
2016.12.27

石垣市の中山市長はさすが。ぶれない
市長です。実に素晴らしい。彼こそ真の
政治家であります。石垣市と岡崎市とは
親善都市となつている。石垣市が現在締
結しているのは愛知県岡崎市(親善都市)
以外に、米国ハワイ州カウアイ郡と台湾
宜蘭県蘇澳鎮(姉妹都市)、北海道稚内

市と若手県北上市(友好都市)、徳島県
上板町(ゆかりのまち)、愛知県犬山市
(経済友好都市)の各都市。各自治体も
全力で石垣市の決定を応援してもらい
たいもの。

中国の領海侵入、北のミサイル：防衛
力強化へ陸自受け入れ 沖縄・石垣市長
「市民の生命、財産を守る」
石垣島への陸上自衛隊配備計画に関
し、記者団の取材に応じる中山義隆石垣
市長(石垣市役所)

沖縄県石垣市の中山義隆市長は26
日、石垣島への陸上自衛隊の部隊配備を
受け入れる考えを表明した。記者会見で
「わが国の安全保障環境が非常に厳し
さを増す現状で、南西諸島の防衛体制の
充実が極めて重要」とのコメントを読み
上げた。中国が同市の尖閣諸島周辺など
で海洋活動を活発化させる中、南西諸島
の防衛力強化のために政府が配備を打
診していた。

中山市長は、尖閣諸島周辺での中国公
船による領海侵入や、北朝鮮の弾道ミサ
イル発射に触れ「市民の生命、財産を守
る立場として配備に向けた諸手続きの
開始を了承する」と述べた。具体的な配
備計画が判明した段階で防衛省と調整
し「最終的な決断をさせていただく」と
話した。防衛省は、石垣島に500〜6
00人規模の警備部隊と地对空・地对艦
ミサイル部隊の配備を計画。昨年11月
市に受け入れを要請した。

先人を語ろう
2016.12.27

平等とは機会の平等。制度的にこれは
確保しなくては社会がスムーズに流れ
ない。特に15歳までの義務教育時まで
は極力これを実践すべきとされ、それは

高校にまで延長すべきとの話も出ている。親の資産や情報力により子供の獲得能力が変わるのは好ましくはない。義務教育が無償であったり、同植物園や美術館入場料が子供は無料となっていたり、学問について塾ではなく学校の先生に聞けばなんでも教えてくれたりヒントをくれたりするのには無料なのもチャンススの平等を確保するうえで実に尊いシステムである。しかし平等が立派な人物を育てるのであれば決してない。先ほど地元の方に、日本人がいかにか立派に祖国のために生きてかを語った。1 時間半のつたなき講演である。例に挙げたのは八田與一先生や関口長太郎先生、それに家康を一向一揆から守った土屋長吉など。他にもオランダからインドネシア独立を勝ち取った幾多の将兵のこと、さらに占守島防衛に立った池田末男戦車隊長のことなど。

驚くべきはバプアニューギニアのマイケルソマシ大統領を教えた名もなき軍人たちがもそうですが、戦地にあってもアジア解放の理念に生きて先人の精神には驚くものがあるのです。

死が目前にあっても、今、できることに全力を尽くす精神。命じられてインドネシアのために生きていたのではない。戦争が終わり、日本に変えることができても日本を捨ててまで、インドネシアの民のために命を懸ける。戦後台湾の民のために毛沢東打破を目指して旧陸軍大佐であった富田直亮氏を団長とした旧軍人達による支援軍白団(パイダン)。なんと1968年まで20年間継続されたという。台湾に密航した旧陸軍将校は延べ83名。日本敗戦のちも台湾防衛に立つのである。戦後二三年もフィリピンで戦った英雄小野田少尉もまさに使命感を生き抜いた方ではないか。この精神の源流はどこにあるのか。左翼人は短絡的に「教育勅語のなしたるもの」と語る。しかしそ

であるうか。例えば年末放映された元禄時代の忠臣蔵や、真田幸村などは教育勅語以前の話ではないか。もっと前にはオトタチバナ姫。ヤマトタケルの船が海の神の怒りを得て海を渡りえず、何度も追いつ返されてしまう。

「私が海に入って、海を鎮めよう」と、身を玉串として海の神に献ずる。すると海のあはれは収まり、無事にわたることができたという。東平定にはオトタチバナの自己犠牲があったのだ。妻の犠牲があつてこそ大業をなしえさせたのだとなれば武士の時代は無論として、古事記の時代から自己犠牲をたつとぶ精神があった。これはもう日本人・民族の中枢を占める価値観といわねばならない。つまり日本人の精神の中枢にその精神は息づいているというべき。

こうした日本人の姿を子供らが知れば彼らは誇りと勇気を取り戻すのであります。我に同じ日本人の血が流れていることに大いなる感動をよみがえらせる。先人の勇気と努力を知ればいかに占領統治が巧妙に進んでいようが、日本精神は一気にあふれ出てくる。機会の平等は教育においては必須。チャイナの太子党なぞのリーダーなんぞ、利己主義に走らぬものはなく、墮落の国家しか生まない。朝鮮にせよ、日本の平等主義が入らねば、両班制度のまままで今よりずっと悲惨な差別国家のままであつたらう。恨の根絶なくしてまともな国家は1000年たつてもできないであらうが、まだ平等の観念があるだけまし。

さて、日本。機会の平等が確保されたとはいえ、そのチャンスを生かすも殺すも本人の決意と能力次第であるのも事実。これにいつ気づかせるか。これが教育の最大のテーマなのだと思う。我が子に、地域の子らに立派な日本人として生きてもらいたいと思うなら、立派に生きて日

本人を語れば、それでいい。その例はありがたきことに身近に何人でもいる。歴史を正しく教えるなら、日本が落ち込むわけではないのだ。

開戦記念日におもむ
2016.12.07

総理が真珠湾にて慰霊をなすとの報道。広島への答礼としてはわかるが、やはり靖国の英霊への慰霊をなさずに米兵への慰霊をなすのは本末転倒。米国も、まともな米国人ならば日本を軽んじるのではないか。行くことを決めたならばその前に靖国への参拝を済ませてから行くこと。これが最低限の条件であらう。

そう明日は大東亜戦争の開戦の日、真珠湾への攻撃の日であります。

1929年、アメリカは政府の無策により世界恐慌を引き起こした。以来、世界の経済は急変。もてる国はブロック経済に走りアメリカも対日禁輸や資源輸出の禁止に動いて、自国の失業者の救済のためニューディール政策に走る。イギリスやフランスはブロック政策。植民地との貿易で経済を動かして日本製品の輸出は激減。日本は以後、資源を求めて大陸や東南アジアへ活路を見出すしかなかった。その不況の中で、他国の権益といたるところでぶつかる。当時戦闘状態にあった中国。蔣介石を裏で支援していたのはこの米国。蔣援ルートをついに中国への軍事協力をなしていた。ついに日本はチャイナのバックに存在する米国と一戦交えねばならぬぎりぎりの段階にいた。耐えて耐えてなお耐えて、のち決起したのが真珠湾への攻撃。しかし日本はここでも温情。石油基地の爆破などまではなさず、いわばフックを打ち込んだのみ。まさにルーズベルトの、日本に先制攻撃

を打たせるとの戦術にまんまとはまっってしまったのだ。

1941年には中国大陸に退役軍人で構成空いた空軍フライングタイガーを送り込み日本との戦闘を開始。近衛首相はルーズベルト大統領との会談を希望したが、すでに対日戦を決意していたルーズベルトは会談の要請を拒絶。在日米国外務大臣ジョセフグルーも首脳会談の開催を強く要請したが、ルーズベルト政権は「会談の必要なし」として却下している。それでも日本が戦闘に打って出ないのをせかして最後通牒ハル・ノートを突き付けた。11月27日のこと。ついに日本は真珠湾に打って出たのである。すぐさまルーズベルトはイギリス首相チャーチルに「我々は同じ船に乗りました」と報告した、日本は攻撃してきました」と報告。チャーチルは米国の参戦を喝采した。のちにマッカーサーは軍役退任の4月19日の直後、こう証言している。1951年(昭和26年)5月3日。米国内閣軍事外交合同委員会にて。「彼らには綿がなく羊毛がなく石油製品がなく鈴がなくゴムがなくその他にも多くの資源が欠乏していた。それらすべてがアジア海域に存在していたのです。これらの供給がたれた場合には日本では1千万から1千2百万の失業者が生まれるといふ恐怖感があった。従って彼らが戦争を始めた目的は安全保障上の必要に迫られてのことだったので。」

退役したマッカーサーがこうして実態を国の最も公の場で証言しているのです。軍人のままでとは言えなかつたことでありましょう。

~~~~~

さすが杉田さん、「行くことを決めたならばその前に靖国への参拝を済ませたいから行く」真に当然至極の話だと思いません。

増木

# 各位・各団体等からの報告・ご意見

## 有識者会議と言うバカ らしさ＝議会制民主主義を蔑ろにする愚策

京都北山細野の神主 中村重行  
2017年01月11日

我が日本国は選挙で民意の代表者を選び、自らの権力の行使を任ず、議会制度ではなかったのか？ 近年、あまりにも「有識者会議」というものが国の行く末を決定する国会でノサバリ出しているのが気にかかります。国民は国の運営を国会議員に任せているのです。そのために選挙をして衆参両議院議員を選びお願しているのです。

国民の劣化に合わせたのか？議員の劣化が進みすぎて国の将来を決定することが出来なくなってしまう。そうしたら、どうするか？ 優秀と定評のある官僚(公務員)に丸投げしているのです。公務員という人種は言われたことは真面目にできますが(やらぬ人もいますが)絶対に責任を取らない職種でもあります。なら、どうするか？ その方面の知識のある有識者と言う人たちを政府の意向に沿って作ってくれそんな学者を中心にした委員会を作って丸投げしているのです。すべてにわたって国会議員の不勉強が原因だと思います。

れますか？ 国会議員にふさわしい経験や勉強をしていなくても成れるのが議員や大臣、などと思いたくはないのですが、これが現実なのです。

.....チルドレンなどと言われるブームに乗った素人など以外の外で選ばれません。大臣は国民から選挙で選ばれるのです。その官庁の長として「国の行く末に責任を持って任務にあたれ」と自覚を持った大臣がどれだけのいるのか？ 本来は国会議員の中に有識者が存在していたのです。

「良識の府」と言われていた参議院の議員たちです。

今、参議院を本当に「良識の府」と認める国民はどれだけのいるのでしょうか？ 参議院議員の存在は今や「盲腸」のような存在になってしまつて、参議院不要論まで出ています。デモや買収されたマスゴミに頼るのは本来の民主主義ではありません。

聖徳太子の頃から確立された世界最古の民主主義国家を蘇らせるのは国民の勉強と総意しかありません。もう一度「七条憲法」や「五箇条の御誓文」を読み直して見たいと思います。

## フォーラム次世代政策研究所の設立

元大阪市会議長・弁護士 坂井良和  
EN29-13

明けましておめでとございます。昨年は、一般社団法人フォーラム次世代政策研究所の設立年でした。皆様のおかげでこうして無事に新年を迎えることが

できました。心よりお礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年12月19日、日本弁護士政治連盟(弁政連)大阪支部主催の政治塾第一回目において「政治家改革と地方議員改革」というテーマで講演してきました。

(1) 二元代表制のもとにおける地方議員の役割

(2) 地方議員の仕事

(3) 地方議員に立候補するにあたって地盤・看板・カバンは不要

(4) 選挙の戦い方

(5) 地方政治における弁護士としての役割について講演をしてのち、質疑応答に入りました。

特に、今日の地方政治において地方政党のはたす意義について、鋭い質問があり、国政政党と地方政党とは役割が異なることについて説明しました。地方分権は避けて通れない以上、地域の特性に応じた政治を推進するために地域政党はこれからも出現してくるだろうと私の考えも伝えました。

久々に講義をしましたが、受講された皆様、身乗り出して講義を聞いて下さる姿に勇気付けられた1日でした。

日本の民主主義が少しでも前進するため、多くの志ある人達が地方政治に関心をもち、関わって頂くきっかけになれば幸いです。今年も引き続きこのような活動を行い、少しでも地方政治改革の一助となるよう精進していきたいと思っております。

代表理事 坂井良和

## 「子ども」について教え ついでに

百人の会理事 空花正人  
January 2, 2017

「子ども」「子供」・正しい表記は「子供」

であることは知っていますが、なぜ「子供」が正しいのですか。 増木

あけましておめでとございます  
東京の空花です

子供表記問題は私は常日頃から関心を持っていきます。地元区教委に掛けあつて、教育委員会・学校ではすべて「子供」で統一されましたが、区の厚生福祉事業関係は相も変わらず「子ども」の交ぜ書きです。「子供」という言葉は、人権派や日教組が「大人の供え物」を嫌っている、「子ども」を広めたのですが、私に言わせれば、「子ども」こそ、「野郎ども」の「ども」を印象付けるため却って差別用語に感じます。

文科省も内部文書では「子供」表記に統一されましたが、他への指導はする気がありません。この件で比較的分かりやすい文章がありますので、下記に貼り付けました。

~~~~~  
子供が読める紙面を

京都大学大学院教育学研究科准教授・佐藤卓己(2013.11.24 12:44 (1/2 ページ))

産経の清湖口敏(せごくち・さとし)氏の連載「国語逍遥」を愛読している。最新の13日付「子ども」子供 『文科省の英断』を歓迎」は特に興味深かった。

『文部科学白書』はこの7月刊行の平成24年度版から、前年度版までの「子ども」表記を改め「子供」に置き換えた。省内の公用文書は全て「子供」に統一することも決定されたという。

「子ども」表記の由来については、私も先月末に上梓(じょうし)した『物語岩波書店百年史2「教育」の時代』(岩波書店)で論じている。現在も日教組などの文書では「子ども」という交ぜ書きに表記が統一されているが、それは昭和

27年5月設立の「日本子どもを守る会」副会長、羽仁説子(翌年に会長)の提唱で開始された。羽仁は「お供」などを例に從属性イメージがあると批判したが、清湖口氏の指摘通り、供は複数を表す接尾語であり、もちろん人権軽視の意味合いはない。むしろ、「野郎ども」などひらがなの方がかえって侮蔑感がある。

夫のマルクス主義史家・羽仁五郎が当時参議院議員だったため、「日本子どもを守る会」の結成式は議員会館で催されている。同会主要メンバーが編集委員をつとめた『岩波講座 教育』全8巻は27年6月から刊行が始まるが、第1巻から「子ども」に統一されている。「子ども」表記は冷戦期の政治的遺物であり、「子供」に戻るのが自然だろう。

確かに「子ども」表記は子供の尊重とは無関係だが、新聞にはもう少し子供読者を尊重する表記を心がけてほしいものである。各紙を眺めて思うことは、年金や医療など高齢者向けの企画記事の圧倒的多さである。少子高齢化の必然とも言えるが、これで新聞に未来があるとは思えない。

産経には子供向けのニュース解説「おやこ新聞」があるが、さらに少年少女が一人でも読める紙面を作ってほしい。政治面も経済面でも、すべての記事に総ルビを付していただきたい。それは子供が新聞を読む手助けになるだけではない。大学のゼミなどで学生に文章を読ませると、おどろくべき誤読に出くわすことも多い。大の大人にいちいち誤読を指摘するのも気が引ける。ルビは大人にとって難読漢字の学習になり、今後の国際化を考えると、留学生など外国人にとって有益である。

「岩波文化と講談社文化」と並び称せられた講談社が戦前は「私設文部省」と評価されたのは、総ルビで発行する教育

的配慮も一因だった。子供に媚(こ)びない大人の教養を、新聞は子供に届ける必要があるのではないだろうか。

年頭のメッセージ

日本世論の会 神奈川県支部
支部長 新井三男
平成29年1月1日

平成29年の新春を会員の皆様と共に迎えることができ、お慶び申し上げます。

昨年は、北朝鮮の核・ミサイル開発の進展、中国による南シナ海、東シナ海への強圧的な海洋進出、ヨーロッパでは英国のEU離脱、ポピュリズムの伸長、ロシアのクリミア併合、シリアの内戦、そして米国ではトランプ氏の登場、韓国政治の混乱など、21世紀の世界は混沌の時代が到来したといえます。

ロシアの宰相ピスマルクの「賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ」という至言がありますが、占領下日本の首相吉田茂の座右の銘は、「歴史を知らない民族は亡びる」であったと伝えられています。

世界が帝国主義の荒波に翻弄されていた幕末から明治時代、アジア諸国は欧米による植民地化の危機に直面していましたが、日本では幕府・倒幕側双方に傑出した人物が登場、決然として国家の理念を説き身を挺して国難を切り抜きました。戦後71年、国会ではようやく衆参両院とも与党勢力が3分の2を占め、憲法改正の気運が高まってきましたが、審議の内容については立憲主義の擁護など、建前論が多く違和感があります。

大體、占領軍が日本に課した報復的な平和・民主主義に名を借りた、日本国弱体化理念の廃除を優先すべきで、個別条項の検討はその後でもよいでしょう。現在に生きる日本国民は、明治開国を

成し遂げた、先人たちの苦難の歴史を学ぶと共に、昨年末ハワイでの日米首脳会談の趣旨を踏まえ、国家危機の現状を深慮し、決断すべき時機にきているのです。それでは皆さん、今年は憲法改正を実現するために頑張りましょう。

真珠湾での安倍首相とオバマ大統領の演説を読んで落涙した

自治基本条例に反対する会

代表 村田春樹

H28-12-30

真珠湾での安倍首相とオバマ大統領の演説を読んで落涙した。

昭和61年12月7日、45年目のあの日、35歳の私は、一人で真珠湾を訪れ式典に参列した。そのとき流した涙と同じ涙を今日も流した。

生命を祖国家族のために捧げた勇敢なる将兵への感謝と畏敬の涙である。以下演説の感想を述べる。長いが御一読いただきたい。まず安倍首相の演説である。

『詩であり崇高な死者への祈りである。』
『耳を澄ますと、寄せては返す、波の音が聞こえてきます。降り注ぐ陽の、やわらかな光に照らされた、青い、静かな入り江。私の後ろ、海の上の、白い、アリゾナ・メモリアル。』

そこは、私に、沈黙をつながす場所でした。亡くなった、軍人たちの名が、記されています。祖国を守る崇高な任務のため、カリフォルニア、ミシガン、ニューヨーク、テキサス、様々な地から来て、乗り組んでいた兵士たちが、あの日、爆撃が戦艦アリゾナを二つに切り裂いたとき、紅蓮(ぐれん)の炎の中で、死んでいった。』

『最後の瞬間、愛する人の名を叫ぶ声。生まれてくる子の、幸せを祈る声。一人ひとりの兵士に、その身を案じる母がいて、父がいた。愛する妻や、恋人がいた。成長を楽しみにしている、子供たちがいたでしょう。それら、全ての思いが断たれてしまった。その厳粛な事実を思うとき、かみしめるとき、私は、言葉を失います。その御霊(みたま)よ、安らかなれ。』
思いを込め、私は日本国民を代表して、兵士たちが眠る海に、花を投じました。』

この前半導入部を書いたのは誰だろう。素晴らしい詩人である。涙を禁じ得ない。感動しない人がいるだろうか。飯田房太軍大尉の碑については私は迂闊にも知らなかった。安倍首相ははっきりと帝国海軍大尉(だいい)と2回にわたって発言し英訳にも

Medial Japanese Navy Officer となっている。旧軍ではない、正しく帝國海軍である。大尉は陸軍ではない、海軍ではだいたいと濁った。ちゃんとそれを踏襲している。

『私は日本国総理大臣として、この地で命を落とした人々の御霊に、ここから始まった戦いが奪った、全ての勇者たちの命に、戦争の犠牲となった、数知れぬ、無辜(むこ)の民の魂に、永劫の、哀悼の誠を捧げます。』

私は嬉しい。戦歿将兵を「勇者」と呼びかけてくれた。不幸な犠牲者ではない、まずもって英霊は勇者なのです。

『The brave respect the brave. 勇者は、勇者を敬う。』
安倍首相はここでも我が英霊を「the brave 勇者」と呼んでくれました。そして米兵もまた勇者だったのです。安倍首相はこう締めくくりました。

『私たちを見守ってくれている入り江はどこまでも静かです。パールハーバー』

真珠の輝きに満ちた、この美しい入りの江こそ、寛容として和解の象徴である。私たち日本人の子供たち、そしてオバマ大統領、皆さんアメリカ人の子供たちが、またその子供たち、孫たちが、そして世界中の人々が、パールハーバーを和解の象徴として記憶し続けてくれることを私は願います。そのための努力を、私たちはこれからも惜しみなく続けていく。オバマ大統領とともに、ここに、固く、誓います。ありがとうございました。』平凡な表現だが歴史に残る名演説だと思います。

「ここ真珠湾で日本とアメリカの将兵が、私たちに遺してくれたのは、生命以上の価値の存在です。生命尊重以上の価値、それは日本であり祖国です。真珠湾から25年後、市ヶ谷台で三島由紀夫先生は「生命以上の価値、それは日本だ！」と絶叫して自決、森田必勝さんはそれを体現して見せてくれたのです。太平洋の死闘はまさに生命以上の価値の衝突でした。そして今本場に平和（パシフィック）な海になったのです。」

オバマ大統領の演説もまた心を打つものでした。『我々は毎年12月1日の9年前にこの地で示された英雄的行為に思いを馳せるのです。あの朝兵士達はそれぞれの階級を超え、勇気を見せました。』我が国でも国家元首が歴史上最高の英雄的行為に充ち満ちた我が英霊に思いを馳せて戴きたい。

大統領は続いてアフリカ系アメリカ人の清掃夫、戦艦ウエストバージニア号の一等砲手だったジム・ダウニング、消防士ハリー・パン、海軍下士官ジョン・フィン等々の英雄的戦いを称賛し、さらにこう続けた『私の祖父母を含むこの世代は最も偉大な世代です。彼等は戦争を求めたわけ

ではありませんが、戦争にひるむことは拒み全員が前線や工場で自分がなすべきことをしたのです。』

非戦反戦平和主義九条護れと泣き叫ぶ愚民たちこの言葉を聞かせたい。

『真珠湾や第二次世界大戦の退役軍人の皆さん。可能な方は起立されるか、拳手をしてください。國はあなた方に感謝しています。』

私は心から羨む。我が国家元首にも同じように拳手を求め、感謝の意を表明していただきたい。ペリリューやサイパンでなされたように、靖国の社頭で居並ぶ元軍人や遺族に「國はあなたがたに感謝しています」と語りかけて戴きたい。

『この地に捧げられた犠牲と戦争の悲しみは、全人類共通の神聖な輝きを我々に追求するように告げています。それはつまり、日本の友人が言う言葉「オタガイノタメニ」を尽くすことです。』

身を滅して公に捧げること、これが全人類共通の神聖な輝きなのです。そして大統領はこう締めくくりました。

『この静かな港で、我々は亡くなった人々に敬意を表し、両国家が友人として共に勝ち得たすべてに感謝します。神が永遠なる腕に戦没者を抱き、退役軍人と我々のために守りに就くすべての人々を見守ってくれますように。我々すべてに神のご加護がありますように。』

「我々のために守りに就くすべての人々」とは言うまでもなく現役の軍人のことです。史上最もリベラルと言われるオバマにしてこの言葉です。日本人よ以て瞑すべし。繰り替えますが両者の演説に通底するのは生命を祖国に捧げた人々への畏敬の念である。この崇高な演説の前に河野洋平だのテレビコメンテーターの言葉は薄汚く、軽く、まじりこみのようである。以上

信義に反する国とは付き合えない

東京都 児島謙剛
H28-12-29

昨日12月28日は、いわゆる慰安婦問題に関する「日韓合意」からちょうど1年となる節目でした。

私は、ありもしなかった（日本）軍の関与を認め、日本政府として「責任を痛感」したのみならず、「心からおわびと反省の気持ち」を表明した拳げ句の果てに、10億円の血税を拠出してしまった「日韓合意」に未だに納得はしておりません。この1年間を冷静に振り返ってみれば、日本側が、合意に沿って10億円を支払い、誠実に約束を履行したのに対して、韓国側は、ソウル・日本大使館前の「慰安婦少女像」なる物の撤去に向けた努力義務すら果たさなかった。何も誠意を示さなかった、その事実だけが残りしました。

「日韓合意」に関する政治的な評価は、ここでは割愛しますが、端的に申し上げて、私は、韓国という国家と国民性が嫌いです。

この私に、なぜ、そこまでの感情を起させるのでしょうか？ それは、彼の国・韓国が、我が国・日本に対して「信義に反する」行為を重ね続けてきて、今この瞬間も重ね続けているからです。

「信義」の意味を辞書で調べると、
> 真心をもって約束を守り、相手に対するつとめを果たすこと
> 偽ったり欺いたりせず、真実で正しい道を守ること

とあります。この対極を地で行っているのが韓国。そのような国とは、まともにつき合えるはずがありません。「信義」「関連する用語として、「信義則」があります。これは法理、法的規範であ

って、
> 相手方から期待される信頼を裏切ることの無いように、
> 誠意を持って行動すべきである
という信義誠実の原則です。以前の論者でも述べた通り、韓国は「国民情緒法」が憲法をも超越する「情治国家」であり、断じて法治国家ではありません。

そもそも、初めから「信義則」が通用する相手ではないのです。基本的な価値観を共有しない、そのような国とは付き合えない
・これは、道理に適った必然の結論であると言えます。』

事務局長 増木重夫
日韓合意に基づいて、日本は韓国に10億円払った。これに関して国内では「騙される、払うな！」という声が多く保守と言われる人から上がった。私は払うべきだと主張した。騙されればいとも主張した。それは、先ず代金を支払う。そうすれば「商品をよこせ」と言える。もっと言えば、相手が会社なら、それを基に相手の会社を乗っ取ることもできる。もちろん安倍さんはここまで考えてはいないだろうが。

今回は大成功だと思おう。だれも初めから韓国が約束を履行するなどと思っていない。10億円を工事に韓国との関係をいかに優位にするか。そこが問題なのだ。これで、日韓関係がトントンこじれても、国際世論は日本に味方することは間違いないと思う。10億円払わないよりこっちの方がはるかに面白い。言い訳理由付けはいくらでもできるが、10億払わなければどっちもどっちになってしまう。たかが10億で、「コラ韓国！なめんなよ」と大芝居を打てたわけだから安いものではないか。10億円を支払いに反対した人のご意見をお聞きしたい。

駐韓大使ら一時帰国へ少女像設置へ対抗措置―政府
時事通信 1/19(金) 11:16 配信

菅義偉官房長官はのり午前の記者会見で、韓国・釜山の日本総領事館前に慰安婦を象徴する少女像が設置されたことに関し、長嶺安政駐韓大使を一時帰国させるなどの対抗措置を講じると明らかにした。

一昨年の日韓合意の精神に反するとし、異例の強い措置に踏み切った。

菅長官は少女像設置について「日韓関係に好ましくない影響を与えるとともに、領事機関の威厳を侵害するもので極めて遺憾だ」と表明。当面の間、長嶺大使、森本康敬釜山総領事の一時帰国、釜山総領事館職員の見合(日韓通貨スワップ(交換)協議の中断)と日韓ハイレベル経済協議の延期―の四つの措置を取ると説明した。

政府はのりまでに、外交ルートで韓国側に伝達。措置をいつ解除するかについて、菅長官は「状況を総合的に判断する」と述べ、韓国政府の対応を注視する姿勢を示した。

2015年12月の日韓合意では、ソウルの日本大使館前に設置された少女像に関し、「韓国政府は関連団体との協議を通じて適切に解決されるよう努力する」とされた。だが、その後、撤去などの動きは進まず、釜山の像についても韓国政府は積極的に阻止しなかった。日本政府高官は対抗措置について「日本の強い抗議の姿勢を示した」と語った。

1/16 埼玉 児島謙剛
のり 徳円支払いに反対した人の意見を前回の拙稿でも述べさせて頂きました

通のり、私自身は、ありもしなかった(日本)軍の関与を認め、日本政府として「責任を痛感」したのみならず、「心からおわびと反省の気持ち」を表明してしまつた「日韓合意」に、そもそも納得していない立場です。たかが10億円と言えど、日本国民の血税を拠出するなど論外。これは「盗人に追い銭」に他ならない、と考えております。

(再)政権交代が起きる前、首相になる前の自民党・安倍総裁は、公式の場で「河野談話の見直し」に言及していません。私は当然、これを事実上の「公約」として受け止めました。「見直し」では生ぬるく、あくまで「破棄」「白紙撤回」が筋であると、かつて所属していた団体の活動の中で主張していましたが、対外的に公言した以上、少なくとも何らかの「見直し」は為されて然るべき、と考えていました。

しかし、自民党・安倍総裁、安倍首相は、「河野談話の継承」を何度も繰り返して表明し、事実上の「公約」を「反故」にしました。

・お忘れの方が多いかもしれませんが、まず問題にすべきは、その点ではないでしょうか。

「日韓合意」によって、それこそ「河野談話」が「最終的かつ不可逆的に確定」してしまつた。10億円の拠出云々以前に、その点にこそ、取り返しのつかない問題の本質があるのではないのでしょうか。

掛け替えのない先人と英霊の名譽と尊厳が、謂われなき濡れ衣、冤罪によって著しく毀損され、そればかりか、現代を生きる私たちのみならず、将来世代の日本人の名譽と尊厳までもが、まさに「不可逆的に」毀損され続けることになるのです。政権のトップである以上、理想論ばかりでは通用しないことは、私も重々承知しております。国際関係における均

衡を保つ上で、現実的な対応も、求められて然るべきでありましょう。しかしながら、終戦の日や、春秋の例大祭における靖國神社への公式参拝をはじめとして自民党・安倍総裁、安倍首相が、初志を貫徹できていない、政治家としての己の信念を貫き通せていない、いわゆる保守と称される方々は、前述の「河野談話」の顛末を含めて、この現実こそ、冷徹に直視すべきではないでしょうか。

1-10 徳永信一

「河野談話の撤回」は、愚策だと思ひます。慰安婦問題に関する世界の誤解を糾すには、「軍の関与」と「広義の強制」の毒抜きからはじめにしかないと考えています。

そもそも、安倍政権は、「河野談話を見直す」とした公約を立派に果たしている」と評価していません。

「狭義の強制」を閣議決定で否定し、河野談話を「広義の強制」に限定したのは誤解を糺すうえで、唯一の方法です。安倍政権が取り消しても、あたかも刑事事件で被告人が捜査段階で「自白」を撤回するのと同じようにみなされるでしょう。撤回しても「自白」した事実が残ります。結局、恥の上塗りです。そんなことで日本の汚名は雪がれません。

「広義の強制」は、韓国にも米国にも、戦前だけでなく現代にも現存する女性の人権問題です。

日韓合意は、「広義の強制」についての謝罪であり、補償だつたと理解していません。「軍の関与」についても、慰安所の設置や運営に軍が深く関与していたことを争う人はいません。そつでしよ。問題は、「慰安所の設置や運営」ではなく、「強制連行や人身売買」に「軍の関与」があつたという誤解です。韓国を含め反日勢力は、そのように曲解して、世界に広めて

います。軍は、そのようなことがないよう悪質な業者を取り締まっています。それが「軍の関与」の中味であり、それは「狭義の強制」と矛盾するものでした。問題は、韓国の人たちが、「挺身隊と慰安婦」を混同し、「強制連行や人身売買」に「軍が関与」し、そこに「狭義の強制」があつたと認識していることです。もちろん、それは朝日新聞が世界に向けて発した誤報に基づくものです。しかし、韓国の人たちは、もう頭から信じきっていますので、彼らの熱い思いに接した善意の欧米人が韓国人の洗脳に感染してしまつていくというのが世界の状況です。

もちろん、日韓の離間を狙う、北朝鮮の工作があり、日米の離間を狙う中国共産党の工作が働いています。しかし、これは上級者に対していうべきことであり、慰安婦問題の初心者というべきことではありません。韓国では、日韓合意まで大学受験向けの国営放送で吉田清治による「奴隷狩り」の告白が、真実として教えられていました。これが現実です。韓国は知識人も未だに吉田清治の証言内容は、真実だと信じられています。

現時点では、これまでの慰安婦問題の定義的混乱を、整理しなければなりません。それすらできないようでは、慰安婦問題の真実を世界に発信していくなどとてもできません。少なくとも日本国内において徹底したうえで、世界に広がった誤解をこれから10年かけて訂正していくほかりません。まずは、せつかく朝日新聞が認めた吉田清治の「奴隷狩り」の虚偽と「挺身隊と慰安婦の混同」を粘り強く、地道に世界に向けて広報していくほかりません。

現在、私が取り組んでいる朝日新聞を被告としている「朝日グリーンテール訴訟」もその活動の一つです。

今日の新聞報道・ニューズ等

自衛隊が貧乏すぎる…制服が予算不足で足りない、給料・退職金カットも

2016年12月29日 SPAI

◆「何もかもが足りない！ ボンビー自衛隊の実態！ 02」

2010年11月、今や民進党党首の蓮舫さんが、襟をピンと立てながら行政刷新委員会で、「自衛隊の制服高すぎる。中国で縫製して輸入すればもっと安くなら」と言っていました。国防にかかわる重要なものでも、安ければいいと考える人もいるんですね。「自衛隊の制服なんて海外での大量生産品で何が悪いの?」という論調に当時びっくりしたものです。



自衛隊に限らず、軍の制服のデザインや素材は、その制服と同じものが第三者の手に渡ってしまえば、いくらでも軍の中に潜入することができてしまいます。それがものすごく恐ろしいことだということくらい私にでもわかります。例えば、戦場で敵兵が、その制服を着て入れ替わったとしてもすぐには気付かないじゃないですか? 自衛官の制服は公務員の信用を利用した犯罪にも使えます。そういった悪用を避けるために、官給品は民間人には払い下げず、古くなったら交換という形で回収しているんですよ。

制服の部分的な汚れは、駐屯地にある業務隊や被服係などに依頼すると修繕されるのだそうですが、長年使うと全体に色あせて繊維が薄くなり擦り切れてくるのでそこまで行くと交換してもらうことになりました。だから、自衛隊に入隊したの時にはまず制服や身の回り品一式を支給してもらいます。その後、使い古せば消耗品だから交換が必要です。制服が必要なのは新人の入隊時だけじゃないのです。また支給品は制服だけじゃなく、ベルトのバックルや靴や支給された衣類を入れる衣嚢や仮眠覆いやセパレートと呼ばれる雨合羽、鉄バチ(ヘルメット)なども支給されます。同じ装備を完全に揃えていることで、例えばスパイが混じっていても一部が違うという違和感ですぐに見つけられるわけです。

その制服が、予算不足でまったく足りない状況になっています。東日本大震災への陸自の大規模な派遣がありました。普段の演習などは違い、荒れ果てた被災地で、泥水に体を浸しながらの救難活動を自衛隊は必死で行いました。瓦礫の

山での作業ですから制服も切り裂かれたり、擦り切れたり、傷だらけになります。だから、自衛隊は通常時なら使い果たすことのない在庫をすべて使い果たしてしまっただけです。東日本大震災で自衛隊も沢山の資材を使い果たしたというのに、震災の年の平成 23 年度予算は 4兆 6025 億円、平成 24 年度予算は 4兆 6453 億円と減っています。

この年、自衛隊の給料は 10%カットされたことも記憶に鮮明に残っています。聞くところによると、いきなりの給料カットでローンの支払いに困ったり、子供の塾通いをやめさせることになった家庭もあったとか。陸上自衛隊では新しく入隊した自衛官に先に制服を配ってあげないので、今いる先輩自衛官が本当なら交換しなければならぬような制服や靴を我慢して使っています。使えればまだいいのですが、いろいろな訓練時にやはり破れかけた靴などを履いていては後れをとりますし、『服装が乱れている』と上官に叱られることも多くて辛い」と嘆く声も聞こえてきます。その人のせいでなく、予算が無くて制服が交換できないためなのですから、とても可哀想だと思います。ある自衛官田さんが、米軍の艦艇に乗り込んで食堂で米軍と話をしていたときに東日本大震災の話になりました。米軍も多くの隊員が友達オペレーションで被災地に物資を運び、みんな長期間、東北のために支援をしてくれたことのお礼をいったところ、海兵隊ではそのあと隊員さんたちは長い休みをもらい、長期の支援活動に参加したということを褒められたといっています。

自衛隊もあんなに頑張ったのだから、国から勲章をもらったのだから? と米軍から聞かれました。仕方なく自衛官田さんは、「我々は東

北が被災して大変な時だから、『君たちの給料もしばらく10%カットする』と国から言われ、退職金も値下がりしたんだよ」と説明したところ、何度説明しても米軍には「冗談だろう」と言われ、理解してもらえなかったそうです。

「もし、本当にそんなに大変な職務をはたした軍人に、国が給料をカットするなどの暴挙に出たら、普通は暴動が起きます。自衛隊はいつもどおり淡々と職務をこなしているのだから、それは俺をかつごととしてんだらう? 騙されないぞ。はっはっは〜」と米軍の軍人は笑ったそうです。

「嘘であってほしいが、ほんとに本当なんだよ」と寒風の吹きすさぶ飛行甲板で田さんは、一緒に乾いた声で「はっはっは〜」と笑ったそうです。

こんなショボーンな話を一生懸命頑張っている人にさせたくないと思います。自衛官は、普通の公務員と違い幹部・准尉・曹で、一部を除き大部分が04歳以上の歳で定年となります。そう、定年が早いのです。老後の不安を感じる軍人なんて寂しすぎるじゃないですか。本来は退職金を増やしてあげるべきだと思います。

一生懸命泥にまみれ、休みなく東北で働いた結果が、老後がさらに心配になる退職金カット、給料カットと、制服でさえ交換できない毎日なんて辛すぎます。私たちも災害救難や軍事的脅威でいつ自衛官にお世話になるかわかりませんが、せめて一生懸命働いた人が報われる国であってほしいと思います。

【梨恵華】

ミリオタ女子。「自衛官守る会」顧問。

関西外語大学卒業後、報道機関などでライターとして活動。キッキラ星のブログ【月夜のびよこ】を主宰

朝鮮学校補助金、1400万円増の約3億7300万円 神奈川の授業料倍増に識者「不自然だ」

2016.12.21 www.zakzak.co.jp

朝鮮学校に対し自治体が独自に支出した平成27年度の補助金が前年度比140万円増の約3億7300万円となり、2年連続で増加したことが20日、文部科学省の内部資料で分かった。朝鮮学校の児童・生徒数の減少に加え、国の就学支援金の適用除外を受けて打ち切る自治体が相次ぐ中、神奈川県が朝鮮学校側の授業料値上げを理由に約1400万円増額し総額を押し上げた。同県の増額には識者から「不自然だ」との指摘も出てい

堺の中学で車上荒らし 生徒122人分の氏名、成績：個人情報報盗難

12-13 産経ウエスト

堺市教育委員会は12日、市立深井中学校(同市中区)で保健体育を担当する男性非常勤講師(24)が、車上荒らしの被害に遭い、1、2年生の男子生徒計122人分の名前や成績が記された教務手帳とメモリーカードなどが入ったかばんを盗まれたと発表した。流出の被害は確認されていない。

11日午後1時ごろ、非常勤講師が同中に駐車していた軽乗用車の助手席窓ガラスが割れ、かばんがなくなっているのに気づき、西堺署に被害届を出した。教務手帳とメモリーカードには、1、2年

生男子の実技テストや期末テストの点数5段階評定などが記されていた。男性講師は無断で教務手帳を持ち出した。メモリーカードへの個人情報入力も禁止されていた。

このや大変！堺市教育委員会 丁度一か月前、堺市で中学校から生徒の個人情報紛失した。早速教委に行き、「今回は名簿だけで、成績情報は流出しなかったからいいもの、成績が漏れたら教委全員切腹ですよ。」と言った。もちろん冗談だが、その時教委の面々は「当然です。」と言った。たとえ冗談でも、言ったものは言った。 さて、いつ切腹するのか明日教育委員会に問い合わせてみよう。

入れ墨調査「適法」確定 拒否の大阪市職員敗訴―最高裁 (一ノ一)金 時事通信

大阪市の行った入れ墨の有無を確認する調査を拒否し、懲戒処分を受けた職員2人が処分の取り消しを求めた訴訟で、最高裁第1小法廷(小貫芳信裁判長)は6日付の決定で職員側の上告を退け、取り消しを認めない一審判決が確定した。 大阪市は2012年、市職員の入れ墨が社会問題化しているとして、全職員を対象に調査を実施。拒否した人は職務命令違反で戒告とされ、「プライバシーの侵害で憲法に違反する」として提訴した。

養育費 合意6割どまり 離婚後トラブル原因に 11/13(日)毎日新聞

未成年の子供がいる夫婦が離婚する際、養育費の分担や親子の面会交流について

取り決めたケースが6割どまりであることが、法務省の調査で分かった。養育費分担などは、2012年4月施行の改正民法で「父母の協議で定める」と明文化されたが、離婚成立の条件ではない。ただ、取り決めがなかったためにトラブルが起きたり、子供が貧困に苦しんだりすることがある。

養育費の取り決めがない一人親家庭は「子供の貧困」状態に陥りやすいとして、政府は昨年12月、養育費の取り決め率を70%にする目標を決めている。 法務省によると、昨年度、未成年の子供がいる夫婦が離婚した件数は12万3190件。民法改正後、離婚届には養育費の分担と面会交流について父母間で取り決めたかどうかを尋ねるチェック欄が設けられている。昨年度、「取り決めをしている」にチェックがあった件数は、養育費で7万7061件(62.6%)、面会交流では7万7630件(63.0%)だった。

離婚後にトラブルとなるケースも多く、司法統計によると、昨年に全国の家裁裁判所に申し立てられた養育費の調停は約1万8000件、面会交流の調停は約1万2000件に上っている。

法務省が配布している手引には、「子どもの養育に関する合意書」が記入例とともに添付されており、養育費の支払期間や金額、面会交流の内容や頻度などが書き込める。手引は市区町村の窓口で離婚届と一緒に配布される。同様の取り組みを14年4月から独自に実施してきた兵庫県明石市では、養育費の取り決め率が70%になっている。【鈴木一生】

協議難しく、支援必要 養育費の分担割合を決めて離婚した夫婦が6割に過ぎないこと背景には、合意や話し合い自体が難しいという実情がある。手引の配布にとどまらず、養育費

を確実に受け取れるためのより具体的な支援を望む離婚経験者は少なくない。「離婚する夫婦が冷静に話し合うのは難しい。自ら情報収集しなければ、どう取り決めればいいのかも分からなかった」。10月初めに離婚が成立した神戸市の女性(39)はそう振り返る。7月下旬に夫が突然、別の女性と同居を始めた。幼い子3人を抱えていたが、離婚を決意。役所の窓口や日本司法支援センター(法テラス)での相談に駆け回った。離婚に向けた話し合いができたのは約2カ月後。「1人で会うのは怖い」と弁護士に立ち会いを依頼した。

しかし、それ以上の弁護士費用は工面できず、夫への慰謝料の請求をあきらめ離婚成立を優先させた。自ら公証人役場で公正証書の書き方を習い、夫とメールを約60回やり取りした。毎月の養育費は約10万円▽親権者は母親▽夫と子との面会交流は月2回と取り決めた。 女性は「離婚理由を作ったのは夫なのに、私から話し合いを求め、元夫の条件をのんだ。理不尽です」と唇をかむ。特に養育費の取り決めは、情報収集する時間や心身の余裕、弁護士に依頼する経済力がなければ難しいと感じた。「結局は当事者の自助努力次第。手引だけで有効な支援と言えるのでしょうか」

離婚事件に詳しい斉藤秀樹弁護士によると、家庭内暴力(DV)などで夫婦間の争いが激しい場合、養育費の取り決め自体、難しい。公正証書を作成しても本人が所在不明になったり、勤務先や預金口座が分からなくなったりして差し押さえも困難になるケースが後を絶たない。斉藤弁護士は「このような場合には、国が相当の額を社会保障として安定的に支給し、その分を支払い義務のある親から徴収する仕組みを整える必要がある」と強調する。【中川聡子】

連合艦隊各艦の予定・活動報告

NPO 法人百人の会

●第 28 (通算 95) 回定期理事会
1 月 22 日 (日) 午後 1 時半

理事会終了後新年会

※理事会は原則 2、3 か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。また、ゲストをお招き、時の時事問題を講演していただきます。今回は政治家に聞いてほしい、近現代史の基本の基

訃報

津村忠臣氏 (関西戦中派の会代表)

市は、弊百人の会設立に尽力され、百人の会が今あるのも氏のおかげ。先生のご冥福を心から祈り、感謝したい。
専務理事 事務局長 増木重夫

英霊を被告として訴える会

【東京】

●第 12 回口頭弁論 (結審) 東京地裁
2 月 6 日 (月) 14 時

(13:30 頃傍聴抽選)

報告会 今回はありません。

【大阪】

●控訴審判決 大阪高裁
平成 29 年 2 月 28 日 14:00

(13:20 頃傍聴抽選)

※予定は変更になる場合があります。直前に日程を再度確認ください。

議会の質問報告の予定

次の議会質問が行われました。各議会のエロにアップされ次第報告いたします
●神戸市議会 1 月 2 月定例会 長瀬猛議員

☆朝鮮学校補助金問題

●神奈川県議会 12 月例会

小島健一議員

☆子供の貧困対策について

☆拉致問題に関する取組みについて

☆日本史教育のあり方について

各地の議会質問の報告をお待ちしています

編集後記

毎日系だっと思いましたが、たまたまつけたテレビで、「北の老人と海」という番組をやっていました。題名は入ミングウイをもじったのでしょうか。思わず見入ってしまった。

礼文島、日本の最北に住む、81歳の老トド漁師の生きざまを映したドキュメント番組です。

トドはホッケや鮭を食い荒らす害獣。被害は年間数億ともいわれているようです。老漁師は来る日も来る日も小さな船でライフルを担いで梅に出ます。そして

トドが波間に顔を出し、自分の船と直線になり照準があった瞬間、引き金を引きます。極めて原始的な猟です。そして、どこの業界(??)もそうですが後継者がいないのが悩み。礼文島でもトド専門の漁師は彼だけのようです。

ある日、この老漁師も 40 歳くらいの若者が「俺もトド漁師になりたい。」とやってきました。そこで老人は若者と話をします。面接試験です。

「なぜトド漁師になりたいの?」動機です。
「誰もやらない。ということは一稼ぎできるから。」
と若者は答えます。

老人は静かに語ります。

「それは無理だ。稼げるかどうかは結果論だよ。環境保護、オシが『将来のため、害獣から水産資源を守る。子度たちのため、この豊かな海を残してやるんだ。』という気持ち、志がなければダメだ。」

若者は、わかったのかからないのかわかりませんが、うなづいていました。

活動資金の協力をお願い

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。
『M情報』は、後記のサポートしている団体にご縁のあった人の名簿を管理し、『M情報活動報告』を現在のところ毎月全国約 5 千 (目標 1 万) 部発送しております。

このレポートにもありますように、私も子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっています。『活動の報告書』です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

#####

原稿・同封資料の募集について

掲載ご希望の論文、情報等ございましたらどなたも表記事務所までお送りください。また、弊紙はメールで発送します。

諸情報のメール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報が送られてきます。それをメールで転送します。内容はより詳しく多種多様。『M』が多過ぎたお詫を致しませ

ひょっとすると、戦後の民主主義は拝金主義、目先の儲かる儲からないがすべて価値基準になってしまったようです。私は必ずしも拝金主義を否定はしません。私に、大事なことは、未来、将来を見据えなければならぬことだと思ひます。老漁師の「志」を理解できる後継者が見つかることを祈ります。 増木

○カンパ金の主な使途
下記サポート団体の、
・活動の資料等の発送費・道路、公園
使用申請料・交通費、通信費・資料
・印刷費・備品購入費等
○M情報がサポートしている主な団体
・NPO 法人百人の会
・救う会大阪
・米国に原爆投下謝罪を求める会
・憲法一条の会
・英霊を被告として委員会
・竹島を奪還する会・関西
・靖国神社に眠る御霊に感謝する会
・大阪の公教育を考える会、他

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

ています。重さ制限は 50g です。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

ですが、試して一度受信してみませんか。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを発信名義「NPO 法人百人の会」。
h100prs@oregano.ocn.ne.jp

郵便振替 00980-8-245547 MASUKI 情報デスク
口座 銀行 089-0245547 MASUKI 情報デスク
三井東京UFJ銀行千原支店 004439 普通 増木重夫